



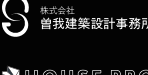
# NILZZ

## RACING FACTORY

### FUJIMAKI GROUP FUJI GT 450km RACE

#### 2023 AUTOBACS SUPER GT Round.2 RACE Report

カテゴリー	: SUPER GT SERIES 2023 GT300 クラス	公式練習	: 1'38.455 (GT300 クラス 24 位)
エントラント	: NILZZ Racing	公式予選 Q1	: 1'37.914 (GT300 クラス A 組 13 位)
カーナンバー	: 48	公式予選 Q2	: ----
マシン名称	: 植毛ケーブフロンティア GT-R	決勝	: GT300 クラス 20 位 (90 周)
ドライバー	: 井田太陽 / 甲野将哉 / 眞田拓海		
開催地	: 富士スピードウェイ (静岡県)		
開催日	: 2023.5.3~2023.5.4		
天候	: 晴れ (5.3) 晴れ (5.4)		
イベント動員数	: 31,600 人 (5.3) / 48,600 人 (5.4)		





SUPER GT SERIES 2023 の第 2 戦 “FUJIMAKI GROUP FUJI GT 450km RACE” がゴールデンウィークにあたる 5 月 3 日 (水・祝) から 4 日 (木・祝) に、静岡県富士スピードウェイで開催された。

NILZZ Racing は今回、ドライバー編成の変更を行なった。

まず第 2 ドライバーをレギュラーの田中優暉から、昨年 NILZZ Racing から SUPER GT デビューを果たした甲野将哉に変更。そして今回も含めて 450km の距離で争われるレースに於いて、第 3 ドライバーの起用が可能となるため、ルーキーの眞田拓海を起用。井田太陽、甲野将哉、眞田拓海の 3 選手で第 2 戦を戦うこととなった。

### 5 月 3 日 (水・祝) 公式練習

好天に恵まれた富士スピードウェイ。

9 時 05 分から行われた公式練習から第 2 戦はスタートし、まず井田がセッション開始とともにコースイン。

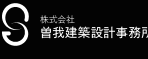
マシンの確認の為、アウト～インラップを経て、連続走行を行う。

計測 7 周目にこのセッションのチームベストとなる 1 分 38 秒 455 をマークするなど、井田は快調に周回を重ねていった。

9 時 22 分赤旗提示に伴いセッションが中断。このタイミングで眞田へとドライバーを交代した。

その後、甲野～井田～眞田～井田とドライバーを交代しながら公式練習のセッションを無事終了。

その後行われたフルコーススイエロー (FCY) 訓練、サーキットサファリまでをフルに使い、予選、決勝に向けてのプログラムを完了させた。





### 5月3日(水・祝) 公式予選

午後も変わらず快晴の富士スピードウェイ。予選 Q1 セッションは 15 時 15 分から行われた。

A グループに割り振られた NILZZ Racing のアタックドライバーは井田。

開始と共にコースに入る井田はウォームアップを終え、アタックに突入。

周回を重ねるごとにタイムを縮め、計測 5 周目に 1 分 37 秒 914 の自己ベストを更新した。

残り 1 分、この時点で 9 位につけている井田。予選 Q2 進出に向けて最後のアタックラップに突入する。

セクター 1 で自己ベストを更新。更なるタイムアップが期待されたが、続くセクター 2 でコースをはみ出してしまい予選アタックを終了。他車のタイムアップもあり、NILZZ Racing の第 2 戦は予選 Q1 A グループ 13 位という結果に終わり、翌日の決勝は GT300 クラス 26 番手からスタートする事となった。

### 5月4日(木・祝) 決勝

迎えた第 2 戦決勝日。この日も好天に恵まれた。

48,600 人もの大観衆が見守る中、パレードラップ、フォーメーションラップを経て、13 時 37 分にレーススタート。

NILZZ Racing のスタートドライバーは井田。

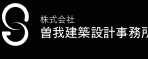
450km のレース距離という事で、耐久要素が高い今回のレース。ライバル勢の戦略も様々で、序盤から順位が大きく変動する中、井田は順調に周回を重ねていった。

今回は 2 回の給油義務が設けられているため、NILZZ Racing は 1 回目の給油を 31 周目に実施。

この時点で井田は GT300 クラス 10 位まで順位を大きく浮上させることに成功する。

次のスティントを担当したのはルーキーの眞田。

GT300 クラス 22 位でコースに復帰した眞田は、初の SUPER GT 決勝ながら、安定したペースで周回。





65 周終了時には 14 位まで順位を上げ、自身の役割を無事果たした。

2 回目のピットストップは 66 周目に実施。甲野に最後のスティントを託す。

GT300 クラス 21 位で復帰後、タイヤのウォームアップが完了すると、NILZZ Racing は甲野に対し、フルプッシュの指示を出す。甲野もこれに応え、前車に対し 2~3 秒早いペースで周回する。

しかし前車とのギャップが大きく、約 6 秒差まで縮めたところでチェッカーフラッグが提示され、決勝レースは終了。

90 周を周回した NILZZ Racing の第 2 戦は GT300 クラス 20 位という結果となった。

チーム全員が各々の役割を果たし、今回も無事完走を果たせました。

次戦、三重県の鈴鹿サーキットで開催されるシリーズ第 3 戦は今回以上の成績を残すことが出来るよう、引き続き感張ってまいります。引き続き皆様のご支援、ご声援を賜りますよう、宜しくお願い致します。

